

第3章 計画の目標とその実現に向けて

1 望ましい将来像と基本方針

本計画では、前章の「国分寺市の環境の現状と課題」や市民ワークショップの意見などを踏まえ、環境の「望ましい将来像」を次のとおり設定します。また、望ましい将来像の実現に向けて、5つの基本方針を設定します。

望ましい将来像

未来の子どもたちへ引き継ぐ こくぶんじの豊かな環境

国分寺市は、史跡武蔵国分寺跡をはじめ、新田開発以降の人々の暮らしの中から生まれた歴史遺産及び歴史的景観が多く残され、国分寺崖線や農地などの緑、お鷹の道・真姿の池湧水群など、緑と水の豊かなまちです。

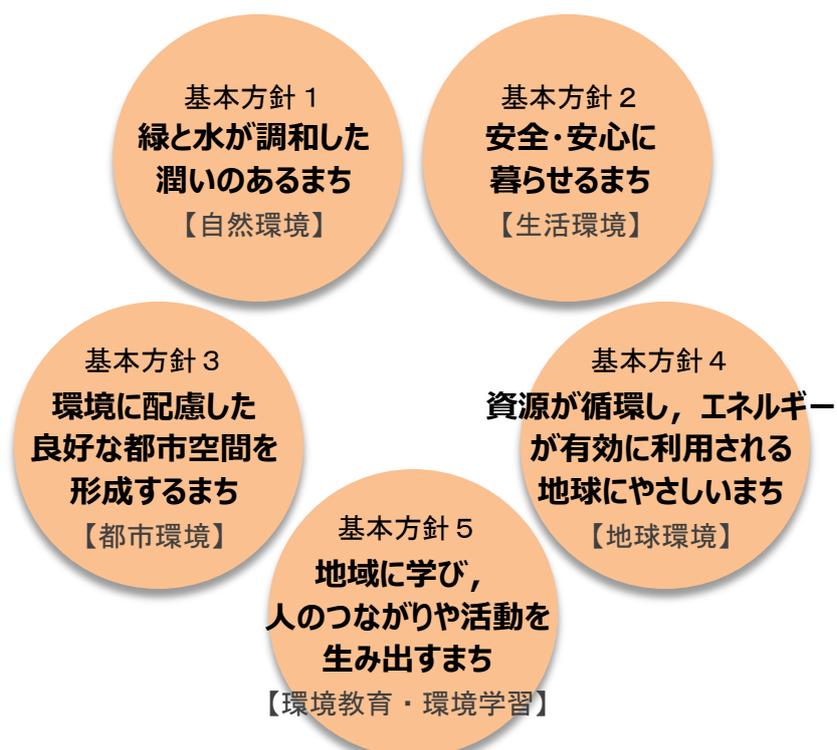
市内には大きな工場がなく、都市計画道路の整備などによる安全かつ快適な交通環境の確保、ごみの減量化・資源化なども少しずつ進んでおり、良好な環境を形成しています。

樹林地や公園などでは協働による維持管理が行われ、活動を通して人と人のつながりが育まれています。

私たちは、こうした良好な環境を守り、育むためにも、環境に関心を持ち、学び、考え、ともに行動することで、「こくぶんじの豊かな環境」を未来の子どもたちへ引き継いでいきます。

基本方針

※ 望ましい将来像を展開するための基本方針



2 施策体系

望ましい将来像を実現するためには、市民、事業者等、市が同じ目標に向かって、それぞれの役割に基づいて取り組むことが大切です。

そのため、環境分野ごとの基本方針のもとに、施策の方向、主な施策を体系的に示します。

●施策体系

望ましい将来像	環境分野・基本方針	施策の方向
未来の子どもたちへ引き継ぐ こくぶんじの豊かな環境	【自然環境】 緑と水が調和した潤いのあるまち	1-1 緑と水のネットワークの形成 1-2 緑の保全 1-3 まちなかの緑化 1-4 水環境の保全・整備 1-5 都市農地の保全・活用 1-6 生き物の生息空間の保全
	【生活環境】 安全・安心に暮らせるまち	2-1 生活環境の確保 2-2 生活環境のモニタリング 2-3 化学物質対策の推進 2-4 食の安全性の確保
	【都市環境】 環境に配慮した良好な都市空間を形成するまち	3-1 環境に配慮したみちづくり 3-2 環境に配慮したまちづくり 3-3 地域性豊かな景観の形成
	【地球環境】 資源が循環し、エネルギーが有効に利用される地球にやさしいまち	4-1 地球温暖化対策の推進 4-2 省エネルギー・省資源の促進 4-3 再生可能エネルギーの導入・創エネルギーの推進 4-4 ごみの発生抑制、減量化・資源化の推進
	【環境教育・環境学習】 地域に学び、人のつながりや活動を生み出すまち	5-1 環境教育・環境学習の推進 5-2 人づくり、仕組みづくり

主な施策

●拠点となる緑や水辺の保全・整備

●樹林地などの適切な維持管理
●公園・緑地の整備

●保存樹木等の指定
●協働による維持管理

●公共施設の緑化

●民有地の緑化

●湧水・地下水の保全・活用
●野川整備事業の促進

●用水路の保全・活用
●雨水浸透の促進

●都市農地の保全・活用
●地産地消の推進

●都市農業を支援する人材の育成

●生き物の実態調査
●生き物とのふれあいの機会の創出

●外来生物対策
●生物多様性に対する理解促進

●低公害車の導入の推進・普及啓発
●悪臭の発生防止

●規制・基準などに関する事業者等への指導
●生活騒音・振動対策の推進

●大気や水質などの測定

●空間放射線量などの測定

●化学物質に関する情報の収集・提供

●化学物質に関する事業者への指導

●食の安全性の情報提供
●給食食品などの放射性物質濃度の測定

●食育の推進

●道路整備の推進

●自転車利用の推進

●良質な住環境の創出
●まちの美化活動の促進

●地域住民の交流によるまちづくり

●地域特性にあった景観づくり

●歴史遺産及び文化財の調査・保存・活用

●地球温暖化対策の計画的な推進

●地球温暖化への適応

●省エネルギー・省資源行動の促進

●再生可能エネルギーの導入・創エネルギーの推進

●ごみの発生抑制
●ごみ減量や分別などの普及啓発

●ごみの減量化・資源化の推進

●多様な主体による環境教育・環境学習の推進
●環境学習に関する情報提供，学習教材づくり

●地域資源を活用した体験型学習の推進
●環境活動の促進と支援

●環境教育・環境学習の機会の促進

●地域リーダーの育成，ネットワーク化の支援